

## 入学を祝して



## 入学を祝して

歯学部長 前田 健康

平成27年度新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新潟大学歯学部に入学された皆さんに、教職員を代表して、心からお祝いと歓迎の意を表します。厳しい入学試験を突破し、大学での新たな生活への期待に胸を膨らませていることと思います。また保護者ならびにご家族の皆様の方々にも心よりお慶び申し上げます。皆様方のご期待にそえるべく、新潟大学歯学部でその能力をさらに大きく伸ばすことができるよう、私たち教職員も全力を尽くしたいと思います。

新潟大学歯学部は1965年に設置され、本年、創立50年目を迎えました。半世紀にわたる新潟大学歯学部の歴史は在学生、全国各地で活躍している卒業生、教職員の努力の上に築かれてきたもので、新入生の皆さんと新潟大学歯学部のさらなる歴史を築いていきましょう。

超高齢社会を迎え、歯学に対する期待は単なる虫歯や入れ歯の治療から大きく変わり、歯科治療も健常者型から高齢者型へと変化してきています。国立大学改革が進む中、文部科学省は各大学、各学部のミッションの再定義 ([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/houjin/1341970.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houjin/1341970.htm)) を進め、その中で健康長寿社会実現への貢献、医療イノベーションの創出、国際的な医療課題の解決の3点を歯学への社会的な要請として明示しました。また新潟大学歯学部のミッション ([http://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/detail/\\_icsFiles/afieldfile/2014/04/28/1341977\\_01.pdf](http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2014/04/28/1341977_01.pdf)) として、問題解決能力を持った歯科医師養成と国内外の人材養成モデルの構築、口腔のQOL向上を目指した基礎・臨床研究、有病・高齢者への対応や歯科再生医療の実践を定めました。この1番目のミッショ

ンは教育に関することですが、私ども歯学部の教育目標として、歯学・口腔保健福祉学の分野に貢献する専門職業人の育成を掲げています。皆さんがこれから学ぶ新潟大学歯学部では「学生自身が自ら学ぶ」ということを教育の柱としています。新潟大学歯学部の教育スタッフは、学部教育を生涯学習の第一段階と位置づけ、課題探求・問題解決能力の育成を重視し、その後続く学習を通して、主体的に専門性を向上させる人材を養成することを目指しています。このため、私どもは常に教育改善に目を向け、全国歯科大学・歯学部の中でも早くから、課題探求・問題解決能力の育成に注目し、Problem-based learning (PBL) という学習方法を導入しています。このPBLでは教員は学習者の補助者にすぎず、「学習の主体は学生である」という概念で、学習が進んでいきます。また、歯科医療・口腔保健医療教育の集大成である臨床実習は、新潟大学医歯学総合病院を学びの場として、学生諸君が担当医の指導の元、診療参加・実践型の臨床実習を展開しています。ここで強調しておきたいのは、新潟大学歯学部の教育の主役は、教員ではなくて、学生諸君であるということです。自ら努力して勉強しなければ、皆さんが望む成果を得ることができません。皆さんと教職員が協働して皆さんの夢を叶えましょう。

平成16年度にすべての国立大学は法人化され、私ども新潟大学も国立大学法人新潟大学となりました。この国立大学法人化により、全国国立大学歯学部同様、新潟大学歯学部も厳しい競争的社会の中に置かれることとなりました。新潟大学歯学部はこの厳しい環境の中、各種競争的資金を獲得し、次世代を担う若手人材の育成に力を注いでいます。平成18年度の文部科学省事業「特色ある大

学教育改革支援プログラム」、平成24年度の文部科学省事業「大学間連携共同教育推進事業」に採択され、全国歯科大学・歯学部のモデルケースとして高い評価を受けるとともに、歯学教育改善の先導的な役割を期待されています。また、大学院課程では平成17年度「魅力ある大学院教育イニシアチブ」、平成20年度には「大学院教育改革支援プログラム」に採択され、学士課程から大学院課程まで、第三者によるレビューに裏付けられた高い教育の質を担保し続けています。また、平成21年度には「組織的な若手研究者等海外派遣プログラム」に歯学部単独のプログラムとして、全国で唯一採択され、近年では学部学生の海外交流事業に平成23年度から5年間連続で採択され、グローバルに活躍できる人材の育成にも力を注いでいます。

厳しい国家財政の中、平成25年2月から始まった歯学部大型改修工事が進められてきましたが、本年夏には3期にわたる歯学部校舎大型改修工事が完了し、既に竣工済みの第1期、第2期工事分

と合わせ、17,500㎡の校舎改修が終了し、新たな教育環境で教育・研究が進められることとなっています。また、学生教育環境整備にも力を注ぎ、歯科治療をシミュレートする実習設備（ファントム実習設備）の整備、ポリクリ用の相互実習室の新設、学生診療用の歯科ユニットおよび学生技工機の更新に代表されるように、各種教材、教育機器の整備・充実にも努めています。これらの高度かつ快適な教育環境を積極的に活用し、自己の目標達成のために、切磋琢磨し、たゆまない努力をお願いします。

勉強の話ばかり致しましたが、20代前後のこの時期、勉強のみでなく、クラブ活動、ボランティア活動などさまざまな社会経験をし、歯学部以外にも多くの友人を作り、教養のある社会人となるよう人間性を磨いてください。そして、社会の期待に応える医療人を目指し、これから充実した学生生活を過ごし、卒業時に、平成27年度新入生および保護者の皆様全員でまた朱鷺メッセで喜びを分かち合いましょう。





## 入学を祝して

医歯学総合病院総括副病院長  
(歯科担当) 高木 律 男

歯学部歯学科、口腔生命福祉学科の新入生・編入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、ご家族の方々も受験生の方々と同様に肩の荷が下りたことと思います。既に入学が決まってから少し時間が経過しましたが、人生における一つの節目を乗り越えたという達成感と大学という新しい勉強の場にいろいろな期待感と若干の不安感を抱いていることと思います。遠く全国から親元を離れて新潟の地に来られ、一人暮らしを始めた方も多いでしょう。これまで以上に自由になったことが多いと思いますが、逆にそれは自分の責任となることを意味しており、これからの生活そのものが多くの自己責任の上に成り立っていることは忘れないでください。

まず、気を付けていただきたいのは健康管理です。原則は規則正しい生活と良い睡眠、良い食事ということになります。すなわち、良い生活習慣を身につける時期ということになります。もちろん、大学生として「よく学び、よく遊べ」ということが可能な若さ(元気)のある時期ですので、ある程度の無理もきくのかもかもしれません。講義に出る、実習に出る、さらには将来的に病院に出るということを考えると、遊ぶ時間と学ぶ時間のけじめをしっかりとつけて、有意義な大学生活を送っていただきたいと思います。なお、不正薬物などについては、一時的な問題にとどまらず、一生を台無しにする可能性が高いことから、絶対に手を出さないでください。

次に病院についてです。歯学部は歯科医師または歯科衛生士、社会福祉士としての専門性が問われる分野に進むための学部ですので、学生の間頑張った力が潜在能力として一生の宝となり、いろいろな場面で生かされることになります。医療の中心は患者さんに対する診療行為ということになり、歯科関係では口の中の狭い場所に対して細かな処置を行うという特殊な技術の修得が求められます。当然ですが、知識と技術の積み上げが必

要で、1年生からの座学とともに、学年が進むにしたがって基礎実習、臨床実習という流れで患者さんへの診療が可能になります。既に早期臨床実習において新潟大学医歯学総合病院内を歩いてみたと思います。歯科は病院外来棟の4階にあり、1フロア全体にユニット(診療台)が配置されています。臨床実習ではこれらのユニットを使用して患者さんを直接診療するという診療参加型臨床実習を行います。そのための準備として、5年生の夏に知識を問うCBT(Computer Based Testing)というコンピューターを使用しての試験と技術・態度を確認するOSCE(Objective Structured Clinical Examination)が行われます。これらの試験は全国的に実施されるもので実施機構から試験監督の先生がお二人いらっしゃるという厳粛な試験です。その試験結果は臨床実習への進級判定としても使用され、臨床実習を行うための最低限の知識・技術・態度が担保されます。膨大な知識ですので、それまでに行われる座学・実習で得られる情報や技術を少しずつ体得してください。共用試験を合格してからは、臨床実習における日々の診療において応用することで、知識はより深まり、歯科医師国家試験への対応も十分に行えることになるでしょう。

最後に、人間関係についてです。大学生活では一生付き合える大切な友人との出会いがあります。1学年が1クラスですので、皆の名前を覚えることも可能でしょうし、実習でペアになったり(相互実習も含めて)、一緒に提出物を考えたりということも多いと思います。さらに、部活などに参加すれば、より多くの人との出会いが待っています。いろいろな人との付き合いも、臨床に出て患者さんとのコミュニケーションをとるためには必要不可欠です。ぜひ、多くの事を学び、元気な挨拶に始まるコミュニケーションを大切に実りある学生生活になることを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。